

2026年 3 月期 (第93期) 第 2 四半期 決算概要

株式会社ユニバンス

<https://www.uvc.co.jp/>

2025年11月14日

連結経営成績

単位:億円	2024年度		2025年度		前期比較	
	第2四半期		第2四半期		増減額	増減比率
売上高	282.9		279.6		△3.3	△1.2%
営業利益	22.1		21.9		△0.2	△1.1%
経常利益	23.9		23.2		△0.7	△3.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19.0		10.7		△8.3	△43.7%

為替レート (期中平均)	2024年度	2025年度	前期比較		
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減比率	為替傾向
円/ドル	152.50	146.09	△6.41	△4.2%	ドル安
円/100ルピア	0.955	0.887	△0.068	△7.1%	ルピア安
円/ハーツ	4.30	4.47	+0.17	+4.0%	ハーツ高

対前期比較:減収減益

売上高

- ・米国追加関税発動前の駆け込み需要による売上増加や、タイバーツに対する円安に伴う為替換算影響、原材料価格上昇に対する販売価格是正の進展があったものの、日本拠点における一部顧客の在庫調整や中国市場における日系自動車メーカーの販売不振等により、減収となった。

営業利益

- ・売上減少に加え、賃上げによる労務費と仕入れコストの増加等の減益影響があったものの、円安による為替影響や収益改善活動による利益増加影響により、微減益に留まった。

事業別/拠点別 売上増減(前年同期比)

・売上高:外部顧客への売上高 ・為替換算差の影響を除く

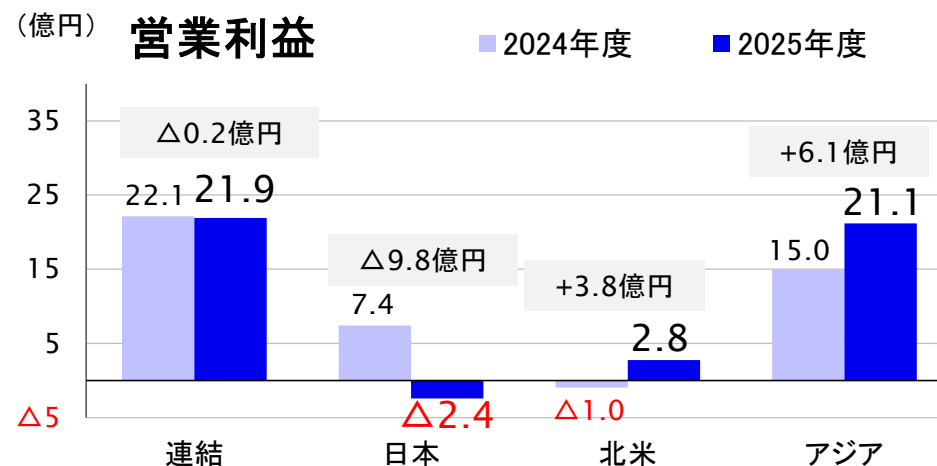
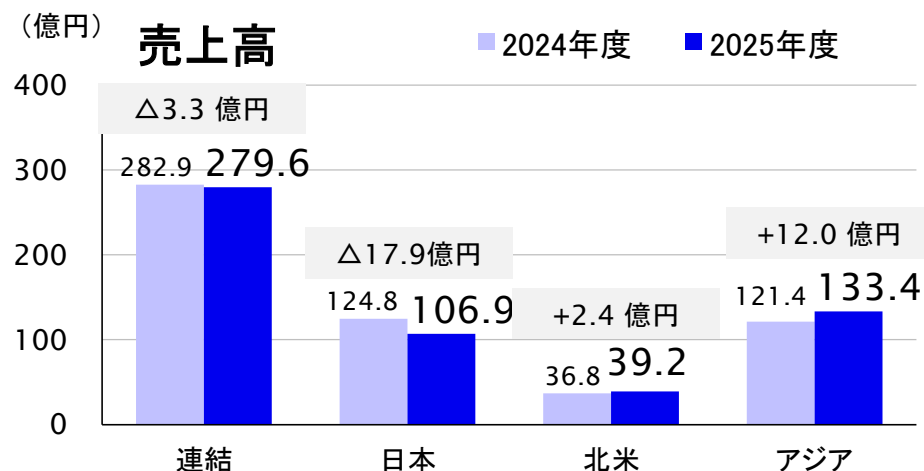
事業	部品群	全体 (率)	拠点			
			日本	米国	インドネシア	タイ
ユニット	FR用四輪駆動装置	108%				108%
	FF用四輪駆動装置	111%	129%	0%		107%
	農機用トランスミッション	54%	54%			
	マニュアルトランスミッション	67%	67%			
	その他	142%	157%	80%		
	計	97%	81%	54%	—	108%
部品	CVT用部品	101%	94%	118%		
	AT用部品	94%	94%			
	エンジンギヤ他	124%	107%			
	その他	89%	86%	100%	60%	
	計	99%	94%	115%	60%	—
合計		98%	87%	111%	60%	108%

ユニット事業:タイ拠点の米国向け製品において、米国追加関税の駆け込み需要による売上増加や、原材料価格上昇に対する販売価格是正の進展による売上増加影響があったものの、日本拠点における農機用トランスミッションの顧客在庫調整等により、減収となった。

部品事業:米国拠点においては売上が好調であったが、日本拠点において中国市場での日系自動車メーカーの販売不振や、一部顧客からのオーダー減少の影響により減収となった。

拠点別：連結売上高・営業利益(前年同期比)

・売上高：外部顧客への売上高



連 結：【減収減益】

日 本：【減収赤字化】

北 米：【増収黒字化】

ア ジ ア：【増収増益】

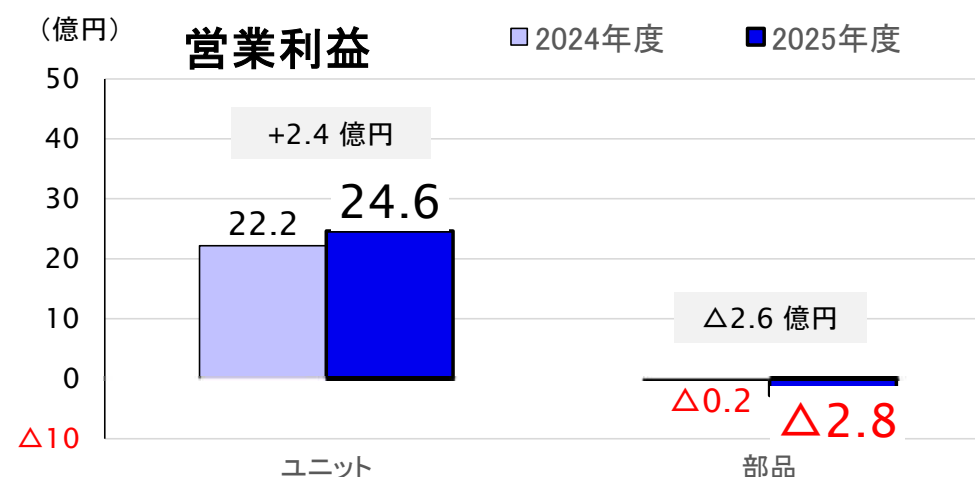
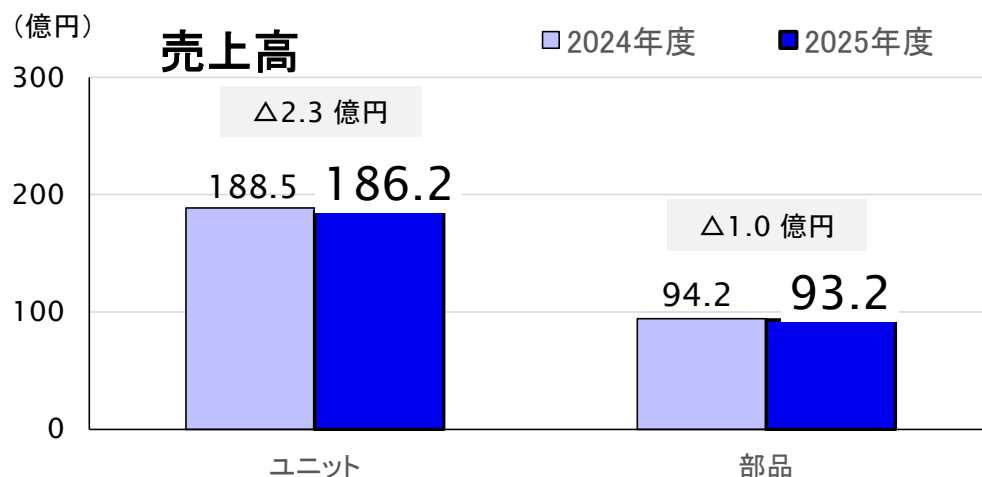
・農機用トランスミッションの顧客在庫調整や、中国市場での日系自動車メーカーの販売不振等の減収影響に加え、賃上げによる労務費と仕入コストの増加等により減収赤字化となった。

・顧客の好調な販売に伴う売上増加に加え、工程改善活動による付加価値向上等の利益増加影響もあり黒字化となった。

・米国追加関税発動前の駆け込み需要による売上増加に加え、原材料価格上昇に対する販価是正等により増益となった。

事業セグメント別：連結売上高・営業利益(前期比)

・売上高：外部顧客への売上高



ユニット：【減収増益】

・米国追加関税発動前の駆け込み需要による売上増加や、タイバーツに対する円安に伴う為替換算影響等による売上増加があったものの、日本拠点における一部顧客の在庫調整の影響により減収。
日本拠点における操業減の影響はあったものの、アジア拠点における売上増加、原材料価格上昇に対する販価是正、為替換算影響等もあり、増益となった。

部 品：【減収赤字拡大】

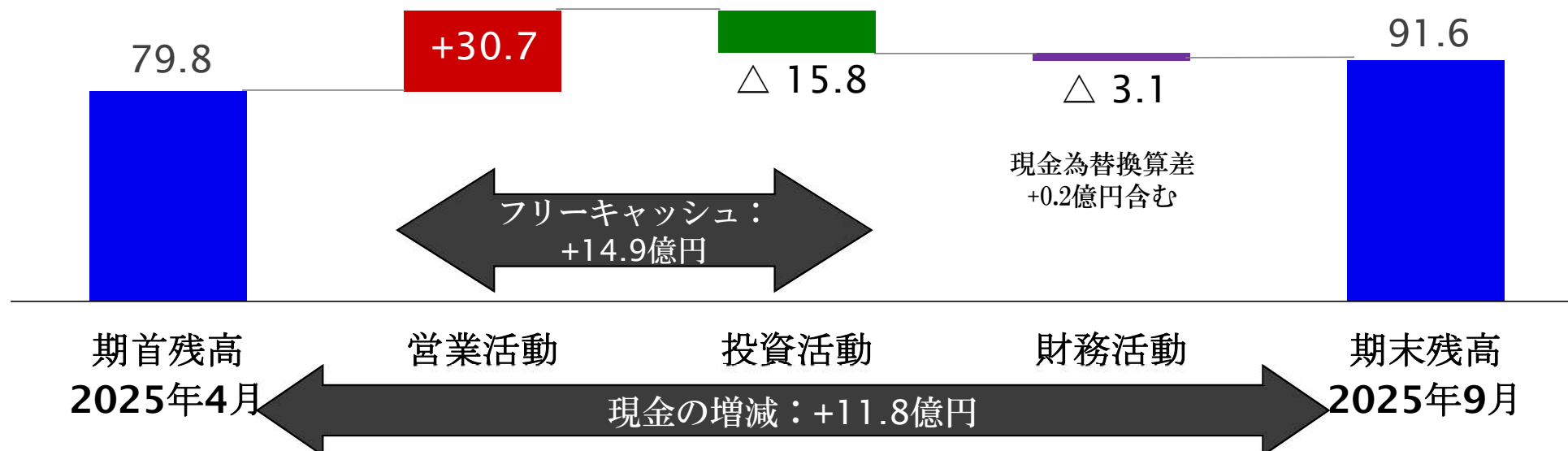
・日本拠点における中国市場での日系自動車メーカーの販売不振や、一部顧客からのオーダー減少影響により減収。
工程改善活動による付加価値向上等の利益増加影響はあったものの、操業減の影響に加え製品保証引当金の計上や賃上げによる労務費と仕入れコストの増加等により赤字拡大となった。

連結キャッシュフロー

(単位: 億円)

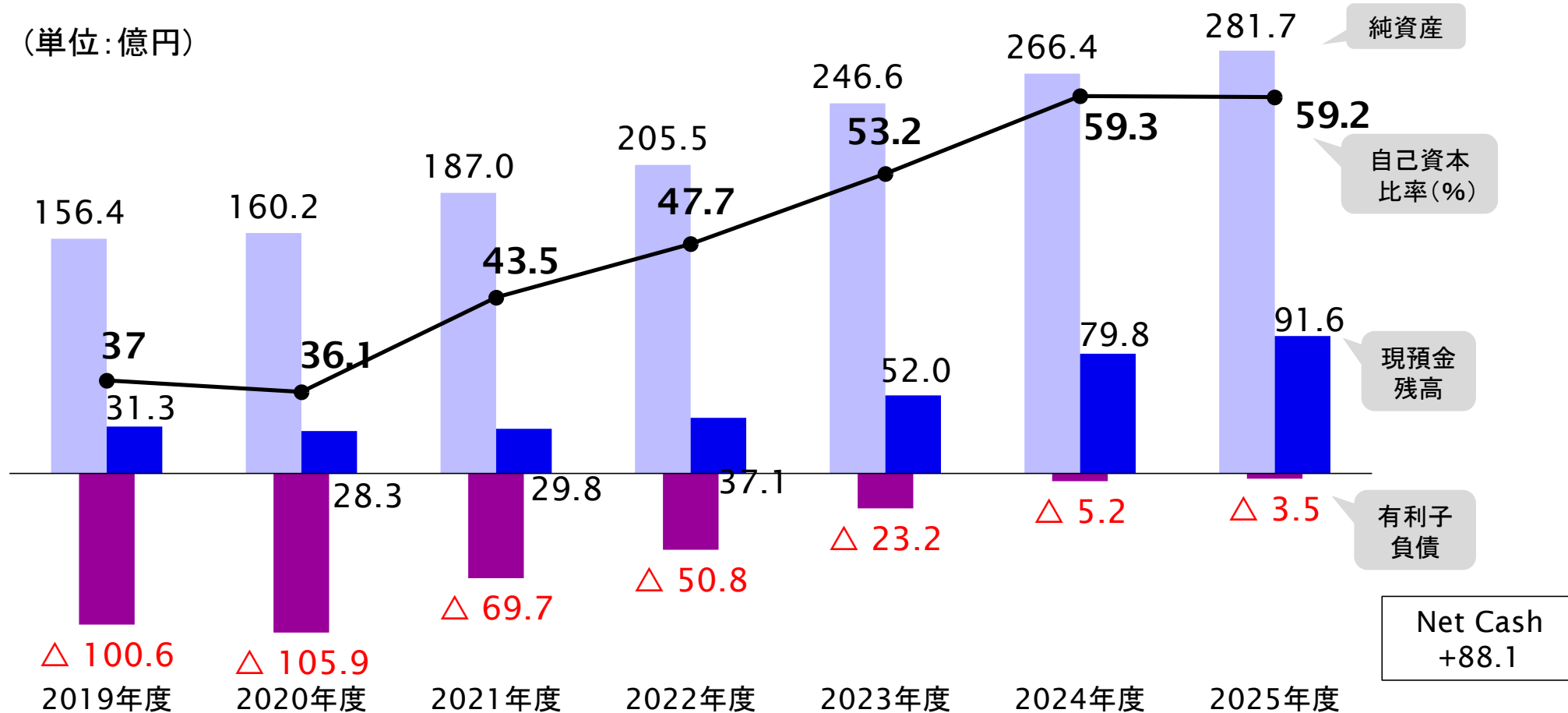
【主な投資内容】

- ・日本：△12.7億円
 - 競争力強化：△2.5億円
(試作強化、ものづくり改革)
 - 環境対策：△1.6億円
 - その他出資・更新等：△8.6億円
- ・海外：△3.1億円
 - 競争力強化：△0.7億円
 - その他更新等：△0.7億円



連結有利子負債・自己資本推移

(単位: 億円)



2026年3月期 通期連結業績予想および配当予想



単位:億円	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想 (今回)	前年度比較		2026年3月期 通期予想 (前回)	前回との 差異
			増減額	増減率		
売上高	539.2	535.0	△ 4.1	△ 0.8%	485.0	50.0
営業利益	40.3	32.0	△ 8.3	△ 20.6%	20.0	12.0
経常利益	43.9	33.0	△ 10.9	△ 24.8%	20.0	13.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	29.5	16.0	△ 13.5	△ 45.7%	14.0	2.0
配当金						
第2四半期末	7円	8円	+1円	—	8円	+0円
期末	7円	8円	+1円	—	8円	+0円
合計	14円	16円	+2円	—	16円	+0円
為替レート通期平均						
円/米ドル	152.60	145.00	△ 7.60	△ 5.0%	140.00	5.00
円/100ルピア	0.949	0.880	△ 0.069	△ 7.3%	0.910	△ 0.030
円/バーツ	4.40	4.50	0.10	2.3%	4.10	0.40

- 前回予想に対して、上期の実績は米国追加関税発動前の駆け込み需要により予想を上回ったが、下期においてはその影響は無いものと予想されるため、上期の上振れ分を織り込んだ修正とする。なお、遠州クロムにおける環境対策引当金の追加計上等により、当期利益は微増に留まった。
- 配当予想については、上期が当初予想に対して上回る結果となったが、下期は依然として米国関税政策や中国市場の冷え込み等、先行き不透明な状況が予想されるため、現時点では配当予想を16円/株のままとする。
なお、前期に対して減収減益であるが、5月12日にも発表した配当方針(継続的な配当、株主への積極的な還元)に基づいて配当する。